

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー 【2019No.119】 (HP 掲載)

分類：LP

作曲家：バッハ

曲名：ヴァイオリン協奏曲 1 番イ短調他

演奏：ヒラリー・ハーン (Vn)

ジェフリー・カヘイン指揮ロスアンゼルス室内オーケストラ

発売：ドイツグラモフォン

No. : 4835219

概要：



ネットから得られた収録情報を引用して掲載します。

「ヒラリー・ハーン DG 移籍第 1 弾としてリリースされたバッハ、初 LP 化

《ヒラリー・ハーン/J.S.バッハ: ヴァイオリン協奏曲集》

圧倒的な人気を誇るヴァイオリニスト、ヒラリー・ハーンの DG への初録音となった、バッハの協奏曲集。ヒラリー・ハーンにとって特別の愛着があるバッハによる多彩な協奏曲を収録したアルバム。全体に有機的な統一感を与えられた第 1 番、作曲家の個性が滲み出た第 2 番、ポリフォニックな書法による 2 挺のヴァイオリンのための作品、そしてオーボエを加えた二重協奏曲。ヴィヴァルディの様式を土台にしながらも、独自のスタイルを確立したバッハがヴァイオリンのために書いた協奏曲 4 曲を収めています。躍進目覚ましいハーンがヴァイオリンの技巧を存分に発揮した、持ち前の艶やかな音色を満喫させてくれるアルバムです。」

【収録内容】

J.S.バッハ：

1. ヴァイオリン協奏曲 第 2 番 ホ長調 BWV1042

2. 2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043

3. ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV1041

4. オーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ハ短調 BWV1060

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)

マーガレット・バーチャー (第2ヴァイオリン) (2)

アラン・ヴォーゲル (オーボエ) (4)

ロサンゼルス室内管弦楽団

ジェフリー・カヘイン (指揮)

【録音】2002年10月 (1,2)、2003年1月 (3,4) ロサンゼルス

(メーカー・インフォメーションより)

本アナログ盤は、2003年発売で、カヘインの解釈なのか、楽章によって緩急の差がある印象です。ハーンのヴィヨームの音色が的確に捉えられ、緩の楽章では、デジタル録音と思われそうですが、例えようもない美しい音色を奏でてくれており、新しい時代のアナログ盤の魅力を表しています。バッハのヴァイオリン協奏曲について他のアナログ盤やCDとの聴き比べは別途報告いたします。

以上